



向陵広場

発行号 第178号

発行日 令和7年7月15日(火)

発行元 向陵編集校友会

責任者 伊藤有司 (県商10回卒)

母校に剣道の恩返し 畠山 隆吉 県商 20 回卒 (昭和 46 年 3 月)



プロフィール

昭和 46 年 3 月 愛知県立豊橋商業高等学校卒業
平成 12 年 11 月 剣道八段審査 合格
平成 23 年 愛知県警察本部教養課
術科指導室 室長兼主席師範
平成 25 年 愛知県警察名誉師範
平成 26 年 名古屋大学剣道部師範
現 在 豊橋商業高校 剣道部教師

人生の道標

人生を 80 年と仮定した場合、豊橋商業剣道部で過ごした 3 年間は 3.75 パーセントである。しかし、そのわずか 3.75 パーセントの日々が、私の今までの人生で最も意義があり、かつ最も充実した日々であったことは間違いのないことである。

豊橋商業で鍛えていただいたおかげで、愛知県警で武道などを専門におこなっている術科の先生から誘いを受け、高校を卒業したその年の 4 月、愛知県警に奉職しました。

春日市にある警察学校は規律、礼式、術科、寮生活のどれも厳しいものばかりでしたが、豊橋商業で育てられた私には、他の人たちが思っているほど厳しさは感じませんでした。

平成 9 年 11 月から平成 10 年 5 月までの約半年間、私は海の彼方フランス共和国へ全日本剣道連盟剣道指導者として派遣されました。フランスでの剣道指導を通じ、フランスの文化とフランスの剣道歴史やフランス人が剣道をこよなく愛していることを体感できたことは、大変有意義かつありがたいことでした。

パリを中心とした剣道愛好者や、アキテーヌ、プロヴァンス、ピレーネなどの地方講習やナショナルチームの合宿、スイスでのヨーロッパ剣道選手権大会コーチとしての参加など、フランス剣士たちとともに生活したおかげで、彼らが純粋な気持ちで剣道を見つめ学ぼうとしていることを知ることができました。

こうした姿に約半年間触れさせていただき私たち日本人がいかに剣道をするうえで恵まれているかを痛感するとともに、剣道場や竹刀などのモノに対する感謝の気持ち、あるいは稽古相手に対する感謝の気持ちが本当の意味で分かった気がしました。日本では当然のことがフランスでは当然ではないからです。

定年退職した現在、母校への恩返しとして剣道指導をしています。部員から豊商剣道部の 3 年間があったから今日の自分があると言ってもらえる日を夢見て。

